

長円オーバーハング / オーバーヘッド



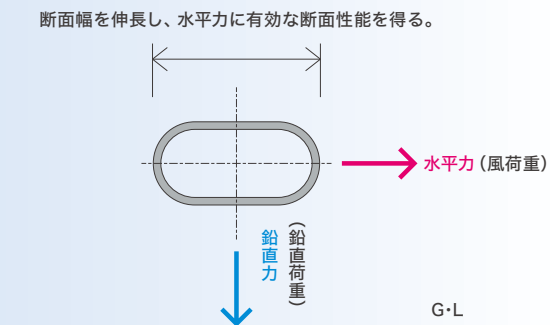
長円製品とは

ヨシモトポールでは、長円断面構造を用いたポールを積極的に提案させていただいております。長円断面の有効性を取り入れることでお客様により高品質な製品をご提供いたします。

長円断面の有効性

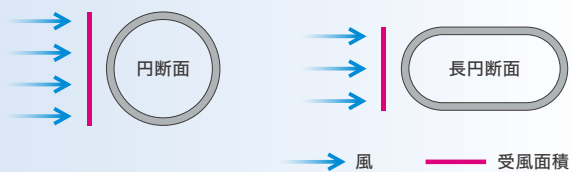
1. 水平力に強い

標識アームなどでは、風荷重による水平力のほうが鉛直力に対して大きいため、長円断面は水平方向の荷重に対して有効である。



2. 風荷重が軽減される

2-1. 円形断面に比べ見付幅が小さくなり、風荷重を軽減できる。



2-2. 長方形断面に比べて風力係数が低く、風荷重を軽減できる。



3. 基礎を小さくできる

アームに加わる荷重が軽減されるため、支柱基部に加わる応力を低く抑えられ、基礎を小さくできる。





KLハング

KLハングは、道路上の標識等を車道部の上方で支持する長円アームによる片持式ポール構造であり、当社がこれまで開発してきた技術を集結させた製品です。最大の特長であるテーパ状の長円パイプによって、これまでにないロングアームの片持式ポール構造を実現しました。

門型に替わる新しい発想。片持式で

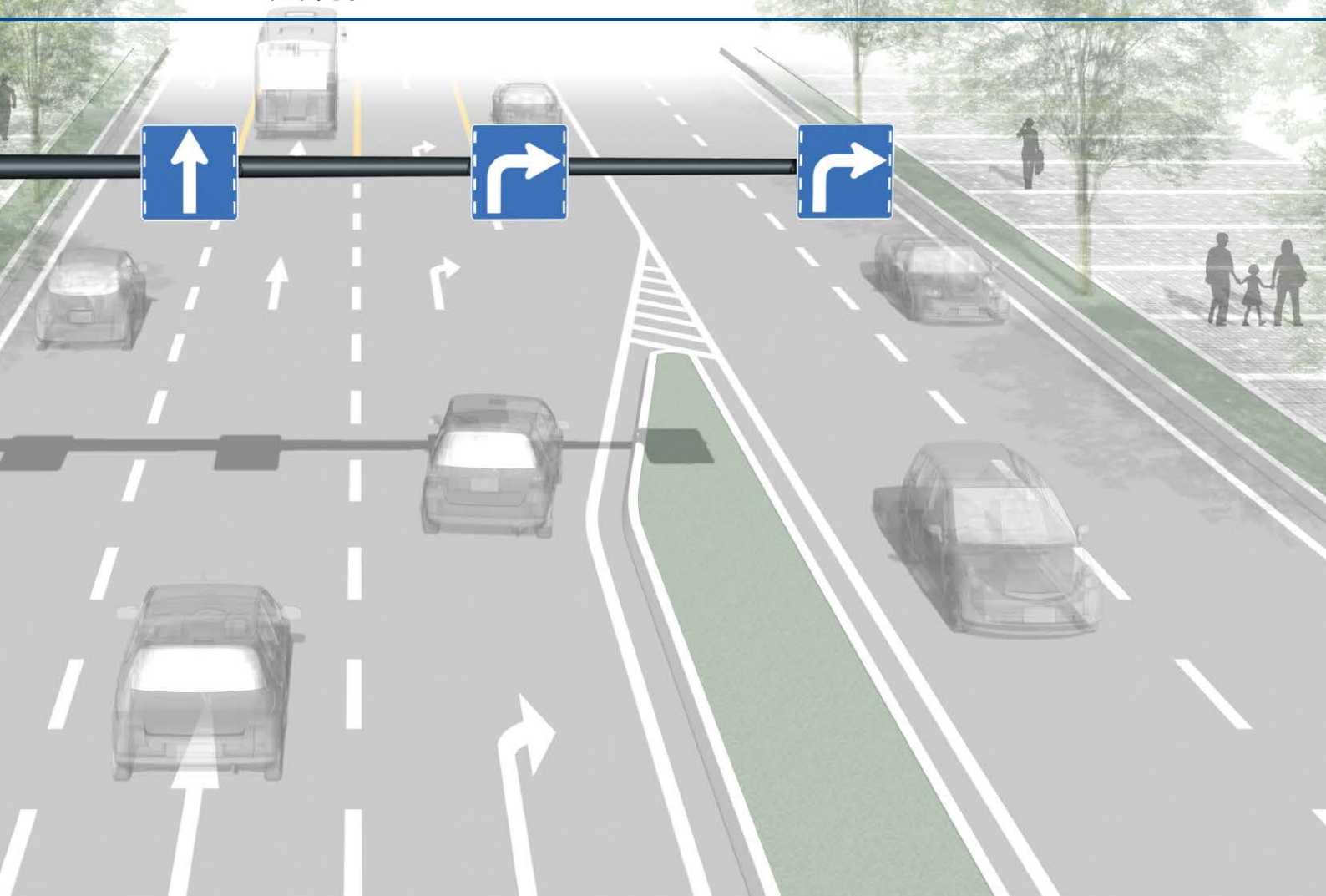


1. 視認性と景観性の向上

KLハングは、優れた視認性を発揮します。



ロングアームを実現。



独特な形状の長円断面アームは、元口と末口の断面の大きさが異なるテーパ柱となるため、外観がより細くすっきりとして景観性に優れています。



2. 優れた施工性

KLハングは門型柱と比較すると施工性において優れています。

【施工面】

KLハングは片持式ポール構造のため、施工時の交通規制が少なく、日中でも工事が可能です。



【コスト面】

KLハングは門型柱に比べ、交通規制を軽減でき、基礎を小さくできるため、トータルコストを削減できます。部材のコスト面においても優れています。

長円門型柱

従来のイメージを刷新。 景観性と

長円門型柱は、道路上の標識等を車道部の上方で支持する長円パイプによる門型式ポール構造です。一般的な鋼管の断面が真円なのに対し、横方向の力に強い長円の断面構造を採用しているため、機能的であることに加え、外観の上でもすっきりとしており、景観性の向上に効果的です。



1. 視認性と景観性の向上

長円門型柱は、柱、梁ともに長円断面構造であるため、従来の製品に比べて外観が細くすっきりとしており、景観性に優れています。

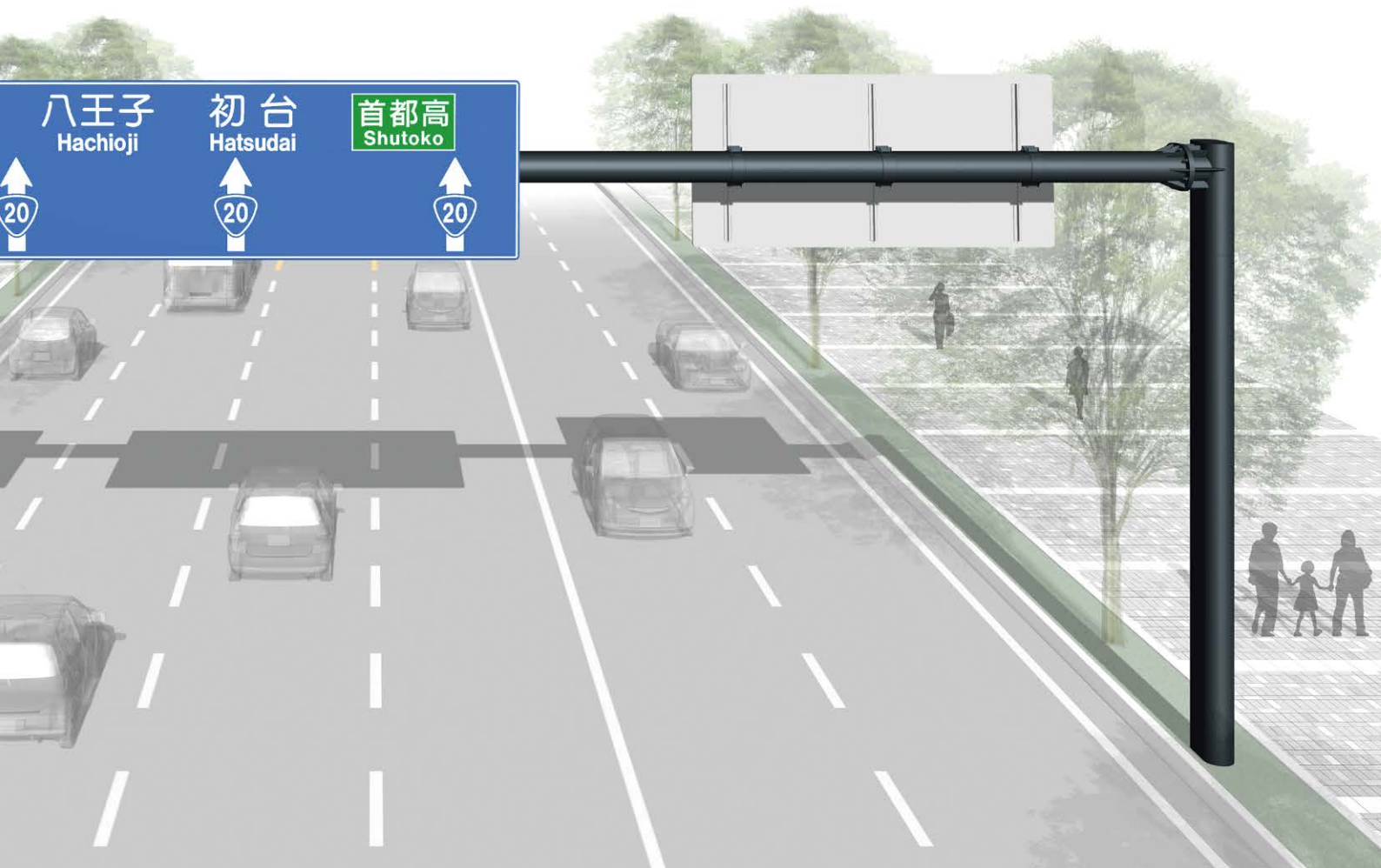


部材数が多く、外観がすっきりしない。



柱、梁ともに長円断面構造により景観性が向上。

施工性を追求した門型柱。



2. 優れた施工性

コラム門型柱などに比べて接合ボルト本数の少量化を実現し、施工時間も大幅に軽減されます。

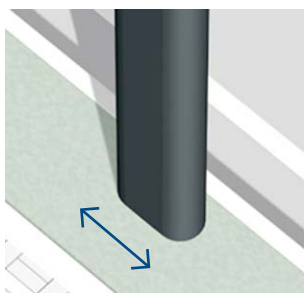


長円門型柱

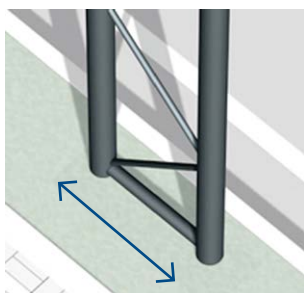


コラム門型柱

トラス門型柱に比べて設置スペースを小さくできます。



長円門型柱

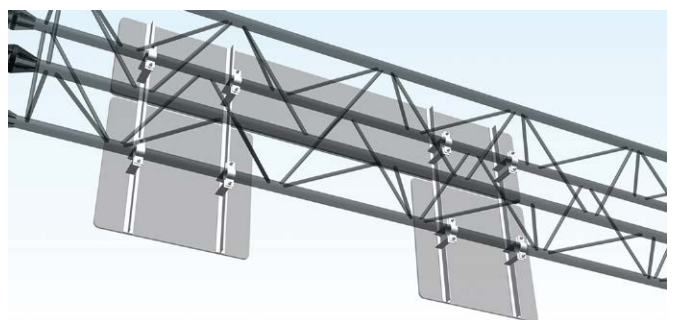


トラス門型柱

トラス門型柱に比べて標識板の取り付けが容易に行えます。



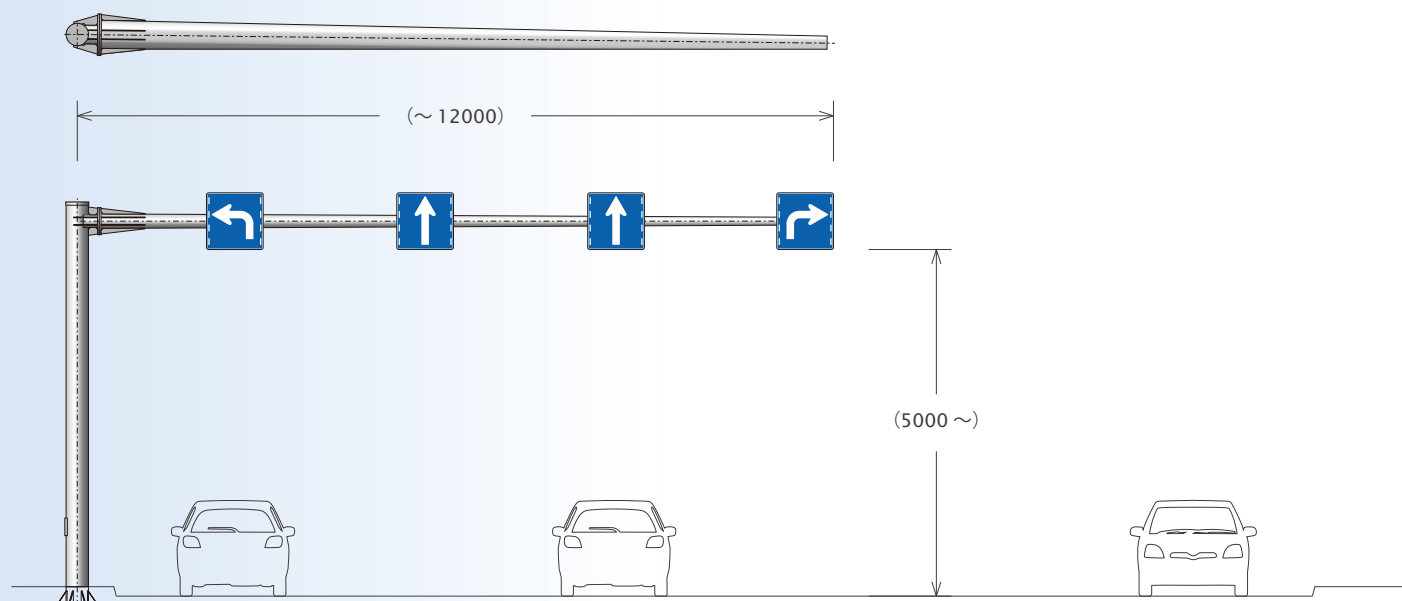
長円門型柱



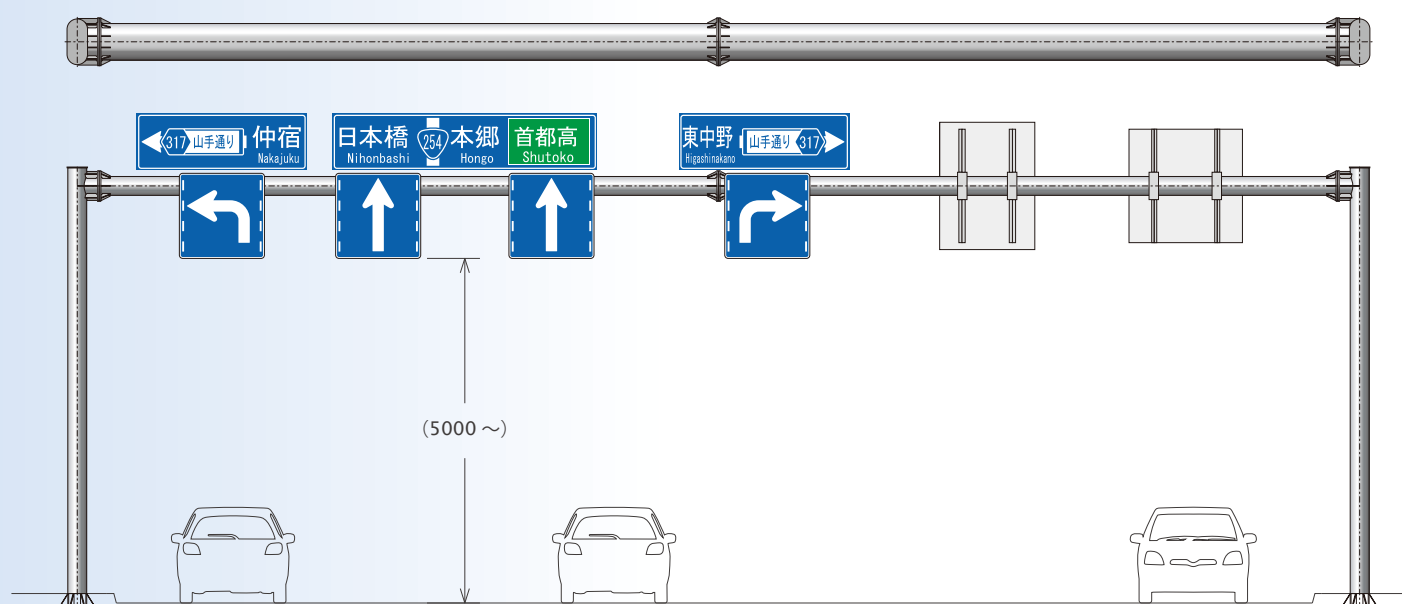
トラス門型柱

標準仕様図

KLハング柱

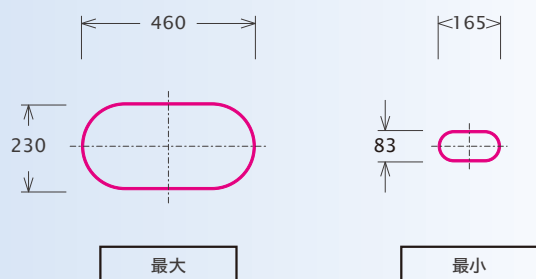


長円門型柱

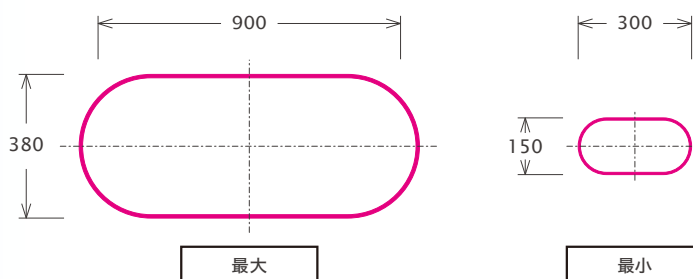


長円断面 最大及び最小寸法

KLハング (参考板厚実績 t4.5mm~t6.0mm)



長円門型柱 (参考板厚実績 t6.0mm~t9.0mm)



※ 上記の最大及び最小寸法はあくまでも実績の数値です。
 ※ 荷重条件により、断面形状の設定は可能です。

オプション

1. アクリルシリコン樹脂系塗装

【ステンコート】

アクリルシリコン樹脂にステンフレークを配合した、塗装膜厚 20 μm 以上の塗料で、直射日光下でも劣化しにくい性質を持っています。

【セラコート】

アクリルシリコン樹脂に防食セラミックスを配合した、塗装膜厚 20 μm 以上の塗料で、工業地帯や海岸地域の防食塗装として最適です。



a. 鋼材
b. 溶融亜鉛めっき
c. 化成処理層
d. アクリルシリコン樹脂系塗装

【塗装における下地処理と効果】

下地処理の名称	効果
1. 溶融亜鉛めっき処理 (HDZ55)	腐食防止
2. 素地調整	突起物、たれなどの除去
3. 化成処理 (リン酸亜鉛処理) (※)	塗装密着性の確保

(※) 滋賀工場では下地処理を化成処理ではなく、プライマー処理とします。

2. 地際防食塗装

地際防食塗装は、土壌とコンクリート間に流れる電流によるマクロセル腐食の発生と、犬尿の分解によって発生するアンモニウムイオンによる腐食促進から柱を守る、地際部の標準塗装膜厚が 150 μm 以上の塗装です。



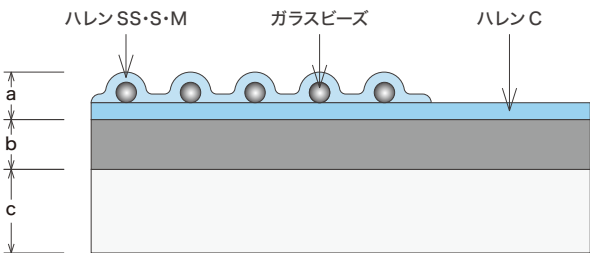
塗装例

地際防食塗装の特長

1. 犬尿の分解成分であるアンモニウムイオンに対して、優れた防食性を有します。
2. 塩分に対して優れた防食性を有します。
3. コンクリート中において優れた耐アルカリ性を有します。
4. 亜鉛めっきに対する密着性に優れます。
5. 環境負荷物質 (Pb、Cd、Cr、タールピッチ) を含まない環境配慮型の塗装です。

3. 貼紙防止塗装「ハレン」

ハレンはガラスビーズの凹凸によって、貼紙を防止します。



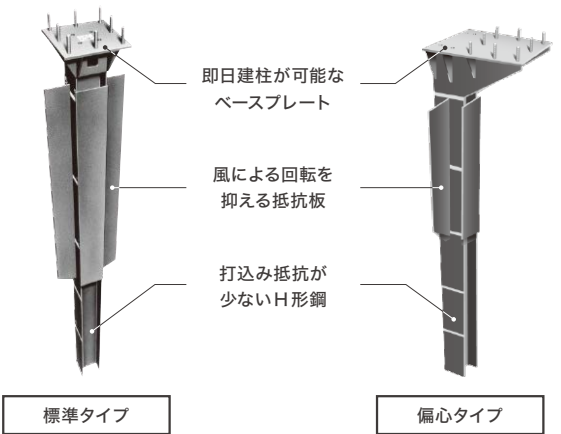
a ハレン塗装 b 塗装膜 c 鋼材

グレード名	性能	ガラスビーズ (径)
ハレン C	落書き防止 / 滑雪対策	無し
ハレン SS	貼紙防止	極細目 (φ0.12mm)
ハレン S	貼紙防止	細目 (φ0.12mm)
ハレン M	貼紙防止	中目 (φ0.25mm)

4. ポールアンカー 100 型-V

平成 22 年度 準推奨技術 (新技術活用システム検討会議 (国土交通省))

抵抗板付鋼製杭基礎「ポールアンカー 100 型-V」は、コンクリート基礎と比較して施工スペース・施工時間・発生残土・交通規制時間といった工事環境を大幅に改善し、トータルコストを削減できる画期的な鋼製杭基礎です。(NETIS登録No.KK-070008-VE)



自走式専用杭打機の使用により、機動力を生かして迅速に施工。

ポールアンカー 100 型に関するお問い合わせは、
日本地工株式会社 都市型基礎事業部 TEL: 048-283-1116

実績紹介

新東名高速道路



新東名高速道路



皇居周辺



高齢者の 自転車事故 多発！

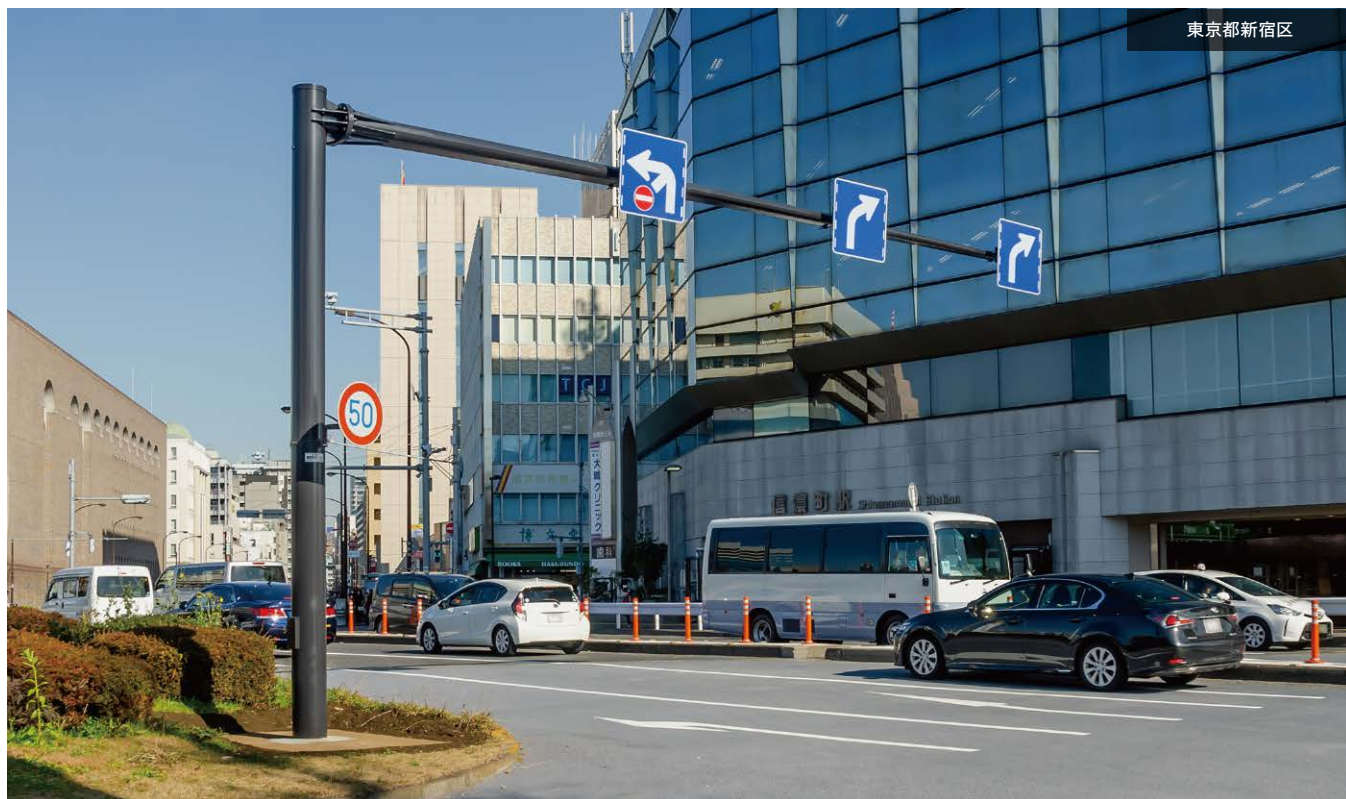
監視庁

新木場 若洲 東京ゲートブリッジ
Shinkiba Wakasu Tokyo Gate Bridge

亀戸
Kameido
306 明治通り
この先 200m

日本橋 浅草橋
Nihonbashi Asakusabashi
6

三ノ輪 首都高
Minowa Shutoko
明治通り 306
この先 200m



ヨシモトポール株式会社 www.ypole.co.jp

事務所・事業所

本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-10-1 (有楽町ビル7F)	TEL.03-3214-1552	FAX.03-3212-1751
群馬工場	〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須 508	TEL.0274-23-2311	FAX.0274-24-0383
滋賀工場	〒527-0212 滋賀県東近江市永源寺高野町西ノ脇 1570-1	TEL.0748-27-1300	FAX.0748-27-1365

販売代理店 (YSポール株式会社)

東京営業部	〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-10-1 (有楽町ビル7F)	TEL.03-3214-1510	FAX.03-3212-1751
札幌営業所	〒060-0006 札幌市中央区北六条西 10-5-9	TEL.011-272-2441	FAX.011-213-1644
東北支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-2-6 (三井住友銀行仙台ビル7F)	TEL.022-721-5035	FAX.022-263-1190
北関東支店	〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須 508	TEL.0274-40-7222	FAX.0274-22-5865
新潟支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-7-7 (IMAⅢビル4F)	TEL.025-367-0036	FAX.025-367-0037
信越支店	〒386-0025 長野県上田市天神 1-9-3 (ASANOビル4F)	TEL.0268-24-0736	FAX.0268-27-5119
北陸支店	〒930-0004 富山市桜橋通 1-18 (北日本桜橋ビル7F)	TEL.076-441-5270	FAX.076-443-8233
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 (錦パークビル2F)	TEL.052-201-2150	FAX.052-222-1877
大阪支店	〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 (ピアスタワー3F)	TEL.06-6372-3305	FAX.06-6371-0319
中国支店	〒732-0824 広島市南区の場町 1-1-21 (クリスタルタワー7F)	TEL.082-568-7555	FAX.082-568-7556
九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-4-4 (JPR博多ビル9F)	TEL.092-433-2290	FAX.092-472-7794

○ 本カタログは一般的な当社実績などの情報を基に提供するものです。設計指針などのマニュアルを示すものではありません。

また、必ずしも製品保証を意味するものではありません。

○ 本カタログの記載製品は使用目的や設置条件等によっては記載した内容と異なる性能や性質を示すことがあります。

○ 本カタログに掲載している技術情報を誤って使用したこと等による不具合の発生およびその損害につきましては、責任を負いかねます。

○ 製品の仕様や外観が予告なしに変更される場合があります。最新の内容については別途弊社にお問い合わせ下さい。

○ 本カタログの内容は予告無く変更する場合がありますので、予めご了承下さい。また、無断転載・転用を禁じます。